

日本史特殊講義7A－Ⅱ

科目ナンバリング JPH-214
選択必修 2単位

小山 俊樹

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は、近現代における日本政治史を扱う。具体的には、日露戦後の桂園時代から原敬内閣の成立にいたる政治の動向を、日本政治の特質、および対外関係と経済変動などの視点から講義し、現代に通じる課題を提起していく。

2. 授業の到達目標

受講生各位が近現代日本の歴史に関心をもち、明治末～大正期の政治・外交・経済の概略を説明できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

試験の成績を重視する。さらに講義への出席を求め、総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

木村茂光ほか編 大学でまなぶ日本の歴史 吉川弘文館

5. 準備学修の内容

講義内で示された文献や、関連事項を扱う書籍を読み進めること。基本事項確認のため、概説書などを参照してもよい。

6. その他履修上の注意事項

本講義は、細かい年代や事象の暗記を目的とするものではない。講義内容をもとに思考を重ね、自分自身の感想を持つようにしてほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス・講義内容などについて
- 【第2回】 日露戦争後の日本
- 【第3回】 桂園体制の成立
- 【第4回】 軍閥・議会・民衆
- 【第5回】 東アジアの変動
- 【第6回】 陸軍二個師団増設問題
- 【第7回】 大正政変
- 【第8回】 シーメンス事件
- 【第9回】 第二次大隈重信内閣
- 【第10回】 世界大戦と日本
- 【第11回】 世界大戦期の経済と社会
- 【第12回】 シベリア出兵と米騒動
- 【第13回】 原敬内閣(1)－国内状況への対応
- 【第14回】 原敬内閣(2)－国際環境への対応
- 【第15回】 大正期日本と「革新」の萌芽／試験実施